

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない 無回答	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	14.3%	50.0%	21.4%	14.3%	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の特性に応じた対応をする際、スペースが十分ではないと感じる ・個別対応が必要な利用児童が増えている ・重症児とのスペースは分けているが狭いと感じることがある ・利用日によってスペースが不適切と感じるときがある
	2	職員の配置数は適切であるか	21.4%	42.9%	14.3%	21.4%	<ul style="list-style-type: none"> ・職員が分散するため、人員の確保も必要となってきている ・配置数は適切ではあるが、個別対応した場合手薄になるため、他部署との連携が必要である ・長期休みは他部署も日中連携が難しいこともあり、人員配置が十分ではないと感じる
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	85.7%	7.1%	0.0%	7.1%	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	42.9%	14.3%	7.1%	35.7%	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	71.4%	7.1%	0.0%	21.4%	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	64.3%	0.0%	0.0%	35.7%	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	35.7%	0.0%	21.4%	42.9%	
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	78.6%	7.1%	0.0%	14.3%	<ul style="list-style-type: none"> ・研修が年に何回あるかわからない ・研修の時間帯の工夫があれば参加しやすい
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	64.3%	14.3%	0.0%	21.4%	<ul style="list-style-type: none"> ・アセスメント項目やアセスメント内容の見直しを行えるとよい
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	21.4%	35.7%	14.3%	28.6%	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	85.7%	0.0%	0.0%	14.3%	

適切な支援の提供	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	64.3%	14.3%	0.0%	21.4%	・月に何回かミーティングを行い、活動のバリエーションが増えている
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	57.1%	28.6%	0.0%	14.3%	・平日は下校後の利用時間が短く、課題設定が難しい場面もある
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	78.6%	14.3%	0.0%	7.1%	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	92.9%	0.0%	0.0%	7.1%	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	57.1%	28.6%	0.0%	14.3%	・終了後に振り返りを行う時間が取れないため、翌日朝礼時に行っている
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	71.4%	14.3%	0.0%	14.3%	・研修を受講し、記録の記入方法を学び、改善に努めている
	18	定期的にもモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	50.0%	21.4%	0.0%	28.6%	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	28.6%	14.3%	0.0%	57.1%	
	関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	35.7%	0.0%	7.1%	57.1%
21		学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	78.6%	14.3%	0.0%	7.1%	・毎日、学校や家庭と下校時間や行事等の予定確認を行っているが、連絡が遅くなると予定がわからないこともある ・学校にもよるが連携はできている
22		医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	64.3%	7.1%	7.1%	21.4%	・保護者を通じてではあるができています
23		就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	42.9%	28.6%	0.0%	28.6%	・同法人の事業所とは情報共有と相互理解に努めていると感じる
24		学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	57.1%	7.1%	0.0%	35.7%	・同法人の事業所への移行に関しては情報を提供している
25		児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	28.6%	21.4%	0.0%	50.0%	
26		放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	14.3%	14.3%	35.7%	35.7%	・現在コロナ感染予防の為、難しい ・コロナ禍で今は機会がない

	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	7.1%	21.4%	21.4%	50.0%	・コロナ禍で今は機会がない
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	71.4%	14.3%	7.1%	7.1%	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	0.0%	14.3%	28.6%	57.1%	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	71.4%	0.0%	0.0%	28.6%	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	71.4%	7.1%	0.0%	21.4%	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	21.4%	7.1%	21.4%	50.0%	・コロナ禍で今は機会がない ・父母の会はない
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	85.7%	7.1%	0.0%	7.1%	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	57.1%	14.3%	0.0%	28.6%	
	35	個人情報に十分注意しているか	92.9%	0.0%	0.0%	7.1%	
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	78.6%	0.0%	0.0%	21.4%	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	7.1%	28.6%	21.4%	42.9%	・現在、コロナ感染予防のため、制限している
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	28.6%	28.6%	7.1%	35.7%	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	7.1%	42.9%	7.1%	42.9%	・児童が参加する避難訓練はできていないが、勉強会を実施している ・事業所に応じた避難計画を準備中
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	78.6%	0.0%	0.0%	21.4%	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	42.9%	7.1%	7.1%	42.9%	

42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	85.7%	0.0%	0.0%	14.3%	
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	92.9%	0.0%	0.0%	7.1%	

アンケート配布人数 14人 回収人数 14人 回収率 100%

《 今年度の振り返りと評価 》

①当事業所での様子が伝わるよう情報発信の充実を図っていきます

毎月、月間活動予定表で活動の様子等の情報発信を継続しています。夏休み後には子どもたちの笑顔写真の配布を行い、喜んで頂いた方も多くみられました。今後は、子どもたちやご家族に対して活動等の企画を事前に伝えていく工夫を行い、期待感溢れる利用に繋がるよう取り組んでいきます。

②利用者理解をさらに深め職員の質の向上を目指します

各職員が子どもの特性を把握しやすいようアセスメントシートの見直しを行い、より良いものにしていけるよう検討を行っています。

研修については前年度同様、コロナ禍で十分な研修機会を設けることは難しかったので、今後もコロナウイルス情勢に留意しながら研修機会の確保に努め、職員の質の向上を目指します。

③当事業所での避難訓練に向けて準備・整理を進めていきます

当センター全体で防災ミーティングを毎月行い、防災マニュアルの確認と整理を進めています。コロナウイルス感染対策のため利用者参加型の避難訓練は控えていますが、当事業所として災害避難時を想定し必要物品の確認や準備を進めています。保護者への情報発信の充実を図るため、通所部門の防災新聞発行を続けていきます。

《 今後に向けての改善目標 》

①当事業所の活動やイベント予定を事前に情報発信できる工夫を模索していきます

事前に活動や企画等をお伝えすることで期待感や楽しみ溢れる利用になるよう努めていきます。

②利用児童の特性の理解を深めると共に職員の質の向上を目指します

子どもたち個々の特性をさらに把握していきます。また勉強会や研修会を通して職員の質の向上に努めていきます。

③防災意識を高めると共に災害時に備え必要物品の準備等を進めていきます。

災害避難時に備え必要物品の確認や準備を進めます。また、通所部門の防災新聞を発行し防災活動状況の発信を行っていきます。